



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月4日

上場会社名 株式会社サンクゼール 上場取引所 東
コード番号 2937 URL <https://www.stcousair.co.jp/company>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）久世 良太
問合せ先責任者 （役職名）コーポレート本部 本部長 （氏名）山岸 泰幸 （TEL）026-219-3902
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	5,081	6.3	73	△47.0	81	△23.3	37	32.8
2026年3月期第1四半期	4,781	4.0	139	59.5	106	△36.9	28	△64.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 62百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △44百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	4.02	3.99
2026年3月期第1四半期	3.04	3.00

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	10,544	4,928	46.7
2026年3月期	10,212	5,191	50.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 4,925百万円 2026年3月期 5,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	21,082	2.3	812	2.7	758	△12.0	403	△34.8	43.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	9,305,600株	2026年3月期	9,305,000株
2027年3月期1Q	46株	2026年3月期	46株
2027年3月期1Q	9,305,030株	2026年3月期1Q	9,264,373株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）における世界経済は、地政学的リスクや主要国間の通商問題、金融政策動向等を背景に、先行き不透明な状況が継続しました。為替相場や資源価格が不安定に推移する中、国内では雇用環境や賃上げの動きが見られたものの、円安やエネルギー・食料品価格の高止まりによる物価上昇圧力が続き、実質賃金の回復は鈍く、消費者の節約志向も根強い状況が続いております。

食品製造・食品小売業界におきましては、原材料価格や物流費、人件費の上昇によるコスト負担が継続しており、価格転嫁や生産性向上に向けた対応が引き続き求められております。一方で、消費者の価格選別志向や価値重視の購買行動は一層強まっており、商品価値の明確化やブランド力の強化、お客様との関係性構築が持続的な成長に向けた重要な課題となっております。

そのような状況の中、当社グループは「愛と喜びのある食卓をいつまでも」というコーポレート・スローガンのもと、お客様の食卓に寄り添い、価値ある商品及びサービスの提供に注力しております。

当第1四半期連結累計期間において、B to Cの販売チャネルである店舗（直営・F C）の売上高は、主に新規出店の寄与により、前年同期比で4.2%の増加となりました。E Cの売上高に関しましては、公式E Cサイト及び楽天市場サイトでの全方位的な施策の効果が徐々に発現し、前年同期比で0.3%減まで回復しております。B to Bの販売チャネルであるホールセールに関しましては、既存の大手小売チェーンとの取引が好調に推移し、前年同期比で5.5%増となりました。グローバルでは、米国子会社St.Cousair, Inc.（以下、「SCI」という。）において、既存ブランドの販売が堅調に推移したことに加え、2025年4月に事業譲受したKELLY'S JELLY, INC.（以下、「KELLY'S JELLY」という。）の売上計上が寄与いたしました。その他地域では、韓国での取引拡大により売上が大きく伸長し、グローバル全体としては前年同期比で21.3%の増加となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が5,081,774千円（前年同期比6.3%増）となりました。営業損益は、売上総利益率の低下に加え、人件費や荷造運搬費等の販売費及び一般管理費が増加したこと等により、73,788千円（前年同期比47.0%減）の営業利益となりました。経常損益は、為替差益14,908千円等の営業外収益18,447千円を計上した一方で、支払利息6,642千円等の営業外費用10,824千円を計上したことにより、81,411千円（前年同期比23.3%減）の経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、税金費用37,064千円等を計上したことにより、37,398千円（前年同期比32.8%増）の親会社株主に帰属する四半期純利益となりました。

当社グループの出店政策に関しましては、商圏人口、賃貸条件、R O I C等の指標を総合的に勘案し、新規出店を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、「久世福商店」業態で1店舗を退店いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末における店舗は直営店55店舗、F C加盟店121店舗、計176店舗となりました。

当第1四半期連結累計期間における業態別の店舗数は以下のとおりです。

業態名	区分	前第1四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末	増加	減少	当第1四半期 連結会計期間末
サンクゼール	直営店	8	3	—	—	3
	F C加盟店	3	—	—	—	—
	計	11	3	—	—	3
久世福商店	直営店	44	53	—	1	52
	F C加盟店	121	121	—	—	121
	計	165	174	—	1	173
全業態合計	直営店	52	56	—	1	55
	F C加盟店	124	121	—	—	121
	計	176	177	—	1	176

当社グループは、食品製造販売事業を単一の事業セグメントとしているため、セグメント情報の開示は省略しております。

当第1四半期連結累計期間におけるサービス別の売上高は以下のとおりです。

区分	売上高（千円）	前年同期比増減率
直営	1,461,846	4.3%
F C	1,791,978	4.1%
E C	298,149	△0.3%
ホールセール	800,007	5.5%
グローバル	729,793	21.3%
計	5,081,774	6.3%

① 店舗（直営・F C）

当第1四半期連結累計期間における店舗（直営・F C）の売上高は3,253,824千円となり、前年同期比で4.2%の増加となりました。これは主に新規出店による増収効果によるものであります。一方で、重要課題として位置付けている既存店につきましては、売上高及びお客様数ともに前年同期をわずかに下回る結果となりました。既存店売上の回復に向け、当社グループは引き続き、売り場演出・商品開発・店舗販売力の強化を三位一体で進める売り場改革を推進しております。

店舗数に関しましては、「久世福商店」で1店舗（直営1店舗）を退店し、当第1四半期連結累計期間における店舗は直営店55店舗、F C加盟店121店舗、計176店舗となっております。

（注） 当社グループでは、開店後18か月以上経過している店舗を「既存店」として客単価及び客数を集計しております。

② E C

E Cの売上高は298,149千円、前年同期比で0.3%の減少となりました。公式E Cサイトではサイトの構成見直しや回遊性の向上等、全方位的な施策を推進しているほか、楽天市場サイトでは配送スピードの改善を実施しており、施策の成果は徐々に売上高に反映されつつあります。

③ ホールセール

ホールセールの売上高は800,007千円、前年同期比で5.5%の増加と好調に推移しております。主要取引先である大手小売チェーンでは、商品ラインナップの見直しや新たな商品開発を進めるなど、取引拡大に向けた取組みが着実に進んでおります。また、新規取引先の開拓や新たなカテゴリー商品の提案にも積極的に取り組んでおります。新規取引先のポートフォリオを拡充することで、特定取引先への依存度が低減され、ホールセール事業の安定成長に向けた体制づくりを推進しております。

④ グローバル

グローバルに関しましては、売上高729,793千円、前年同期比で21.3%の増加となりました。米国子会社SCIの売上高は、「KUZE FUKU & SONS」及び「Portlandia」ブランドの販売が拡大したことに加え、2025年4月に事業譲受した「KELLY'S JELLY」の売上計上も寄与し、堅調に推移いたしました。韓国子会社St.Cousair Korea Co., Ltd.につきましては、大手小売チェーン向けの商品開発・提案を積極的に進めており、現地法人による営業活動が奏功して、取引拡大につながっております。

国別の内訳は、米国顧客への売上高が456,575千円、台湾顧客への売上高が179,904千円、その他地域への売上高が93,313千円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,544,987千円となり、前連結会計年度末に比べ332,738千円増加いたしました。これは、商品及び製品が526,904千円増加したこと等によるものであります。

負債は5,616,548千円となり、前連結会計年度末に比べ595,710千円増加いたしました。これは、Nagano Production Base（長野工場）への投資に伴い、長期借入金が441,501千円増加したこと等によるものであります。

純資産の部に関しては、親会社株主に帰属する四半期純利益37,398千円や剰余金の配当325,673千円の計上により、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ288,275千円減少いたしました。その結果、株主資本は前連結会計年度末に比べ288,245千円減少し4,667,920千円となり、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ262,971千円減少し4,928,438千円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は46.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月12日に発表した通期の業績予想から、現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,704	2,034,423
売掛金	2,037,591	1,697,284
商品及び製品	1,496,061	2,022,965
仕掛品	95,992	64,752
原材料及び貯蔵品	324,968	299,850
その他	109,654	174,990
貸倒引当金	△521	△450
流動資産合計	6,375,451	6,293,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,567,502	2,796,508
減価償却累計額	△1,629,126	△1,666,343
建物及び構築物（純額）	938,376	1,130,165
その他	2,141,038	2,455,038
減価償却累計額	△941,335	△993,996
その他（純額）	1,199,702	1,461,041
有形固定資産合計	2,138,078	2,591,206
無形固定資産		
商標権	652,191	645,512
のれん	478,383	466,784
その他	22,929	21,455
無形固定資産合計	1,153,504	1,133,753
投資その他の資産		
その他	545,220	526,217
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	545,214	526,210
固定資産合計	3,836,797	4,251,171
資産合計	10,212,248	10,544,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,314,820	1,411,634
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	270,961	352,642
未払法人税等	212,504	61,135
賞与引当金	112,483	169,130
役員賞与引当金	11,900	2,973
資産除去債務	2,035	2,040
その他	826,458	911,556
流動負債合計	3,151,164	3,311,113
固定負債		
長期借入金	1,003,527	1,445,028
退職給付に係る負債	149,866	155,057
資産除去債務	320,445	315,999
その他	395,834	389,349
固定負債合計	1,869,674	2,305,435
負債合計	5,020,838	5,616,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,137,387	1,137,402
資本剰余金	1,302,274	1,302,289
利益剰余金	2,516,606	2,228,331
自己株式	△103	△103
株主資本合計	4,956,165	4,667,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,200	675
為替換算調整勘定	229,691	256,543
その他の包括利益累計額合計	231,892	257,219
非支配株主持分	3,352	3,298
純資産合計	5,191,410	4,928,438
負債純資産合計	10,212,248	10,544,987

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	4,781,198	5,081,774
売上原価	3,049,065	3,318,750
売上総利益	1,732,132	1,763,024
販売費及び一般管理費	1,592,843	1,689,236
営業利益	139,289	73,788
営業外収益		
受取利息	43	51
受取保険金	—	895
損害補填金	900	647
為替差益	—	14,908
その他	2,376	1,944
営業外収益合計	3,320	18,447
営業外費用		
支払利息	6,532	6,642
為替差損	26,895	7
その他	3,088	4,173
営業外費用合計	36,516	10,824
経常利益	106,093	81,411
特別利益		
固定資産売却益	2,299	—
特別利益合計	2,299	—
特別損失		
固定資産除却損	8,341	—
投資有価証券評価損	14,551	7,002
特別損失合計	22,892	7,002
税金等調整前四半期純利益	85,500	74,409
法人税、住民税及び事業税	79,819	51,777
法人税等調整額	△21,914	△14,713
法人税等合計	57,905	37,064
四半期純利益	27,594	37,344
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△567	△53
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,162	37,398

四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	27,594	37,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,026	△1,524
為替換算調整勘定	△66,766	26,851
その他の包括利益合計	△71,793	25,326
四半期包括利益	△44,198	62,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43,630	62,725
非支配株主に係る四半期包括利益	△567	△53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	82,410千円	109,127千円
のれん償却費	9,651千円	20,241千円